

## 2025年度 授業コード: 21105300

授業科目	*在宅看護学演習					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	石井 美紀代/吉原 悦子/鹿毛 美香/井手 裕子										
授業概要	<p>実務家教員として、患者と家族が自宅での療養を選択した場合に、「住まい」における看護の特徴、「訪問看護」の方法を伝える。</p> <p>内容は、模擬事例での看護過程の展開、看護技術の工夫、臨床推論を通して、訪問看護の視点と技術を身につける。また、社会問題となっている在宅医療・介護の問題を、多職種連携のもとで解決に向けた方向性を探り、在宅ケアチームにおける看護の役割を考える。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク ロールプレイ						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護過程の展開を通して、在宅看護の目標・課題解決方法の特徴が説明できる。</li> <li>2. 在宅看護過程の展開を通して、事例の状況に応じて社会資源の導入を考えることができる。</li> <li>3. 在宅療養者と家族を支えるために、他職種・他機関と連携する必然性を説明できる。</li> <li>4. 在宅療養に対して安全な看護・自立を支援する看護技術の計画を立案できる。</li> <li>5. 訪問看護において、状況に応じた看護を提供する知識を獲得する姿勢をもつ。</li> <li>6. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する職業倫理を考え、自分の言葉で述べるができる。</li> </ol>										
理想的レベル	標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、グループでの演習課題に対してリーダーシップが取れる										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合(数値)				備考					
試験		50									
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物		50				看護過程の展開(ワークシート)					
その他											
<b>カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング</b>											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31403J
<b>学習課題(予習・復習)</b>										1回の目安時間(時間)	
紙上事例の疾患の成り立ち、疾患のなりゆき、看護技術の手順、利用可能な社会資源を調べる。										1	
授業中に完成できなかった作業は、ディスカッションできるように次の授業までに完成させておく。											
<b>授業計画</b>											
第1回	テーマ:療養者の生活の場への訪問技術(1章・3章)										

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療養者宅を訪問する技術</li> <li>・訪問看護のコミュニケーション技術</li> </ul>
第2回	<p>テーマ：訪問看護の記録（1章）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護で使用される書類と記録</li> <li>・看護過程に用いる『総合的機能を構成する4領域』の解説</li> </ul>
第3回	<p>テーマ：在宅看護過程の情報収集（1章）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護に必要な情報の種類と範囲</li> </ul>
第4回	<p>テーマ：在宅看護過程の情報収集（ロールプレイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護に必要な情報を得る</li> </ul>
第5回	<p>テーマ：在宅看護過程のアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『総合的機能を構成する4領域』を使って情報を分析する</li> <li>・考えられる看護問題を抽出する</li> </ul>
第6回	<p>テーマ：在宅看護過程の課題と目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望を踏まえた援助の方針/課題と優先順位</li> <li>・目標設定の視点</li> </ul>
第7回	<p>テーマ：在宅看護過程の包括計画/看護計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括計画の考え方</li> <li>・包括計画と看護計画の立案</li> </ul>
第8回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例に必要な看護技術を抽出し、手順を調べる</li> </ul>
第9回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の個別性を考慮した看護技術の手順と根拠を考える</li> <li>・個別の環境、限られた物品での看護技術の工夫</li> </ul>
第10回	<p>テーマ：在宅療養の場での看護技術の提供（ロールプレイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術の提供</li> </ul>
第11回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術を振り返り、個別性を考える</li> </ul>
第12回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論（ロールプレイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護過程と臨床推論の関係</li> <li>・訪問時の療養者の状態観察</li> </ul>
第13回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療養者の状態観察から、予定していた看護提供が可能かどうかを推論する</li> </ul>
第14回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療養者の状態に合わせた看護技術の提供方法を見直す</li> </ul>
第15回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療養生活のリスクと臨機応変に対応する意義を考える</li> </ul>
テキスト	地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版

<p>参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>地域・在宅看護① 地域療養を支えるケア メディカ出版 その他、出版授業内で、適宜、紹介します。</p>
<p>課題に対 するフィ ードバッ クの方法</p>	<p>提出ファイルは、後の講義中で総評し、返却します。</p>
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>15回の授業で、訪問看護のプロセス（情報収集→看護計画の立案→看護計画に沿った看護技術の提供→療養者の状況を判断する臨床推論→臨機応変に対応した技術提供）を学びます。病院の看護との共通点、違いを考えていきましょう。</p> <p>グループワークと個人ワークを組み合わせ実施します。在宅看護の知識・技術に加え、グループに協力する行動、リーダーシップ、メンバーシップを学び、後期の実習に繋げましょう。</p> <p>※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。</p>